



# カルナータカ州の「製造業のエコシステムを可能にする」

高官代表団が韓国ソウルを訪問

2018年xx月xx日

1

カルナータカ州の力強い経済

2

重点セクター

3

強固なエコシステム

4

イベント

カルナータカ州の  
力強い経済



# 経済規模で国内第4位 過去10年の安定的な成長

## 経済概要

**8.72兆ルピー**

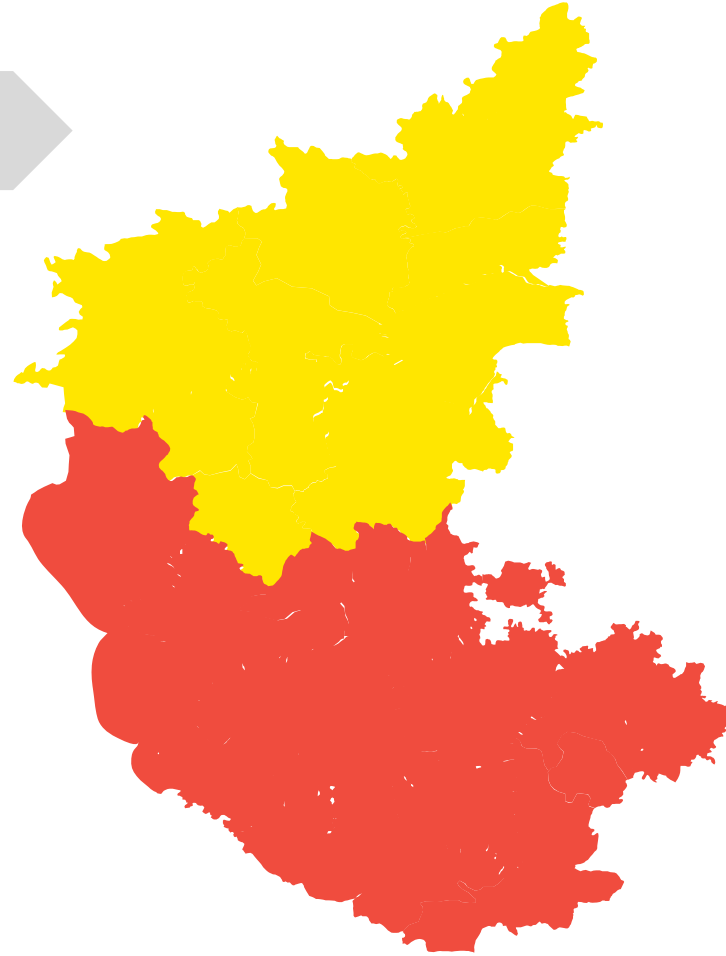
GSDP<sup>1</sup>

大きな州の中で、国民1人当たり所得は**第2位**<sup>1</sup>

FDIによる資金流入は**第2位**<sup>2</sup>

**3.25兆ルピー**

総輸出額<sup>1</sup>



## カルナータカ州の優位性

2017年は投資意欲の呼び込みで**第1位**<sup>3</sup>

IT・ITESの輸出で**第1位**<sup>4</sup>

熟練した労働力の規模で**第4位**<sup>4</sup>

400社以上の研究開発企業<sup>4</sup>

ニッチ政策導入のパイオニア

複数の優れた研究機関の拠点

世界のトップ15のスタートアップ・エコシステムの一つ<sup>5</sup>

Fortune 500の内、400社がオペレーションを同州内に外部委託<sup>5</sup>

# 国内製造業部門に占める投資シェアは32%

## 活況な産業シナリオ

### 野心的な国家製造業政策



10年以内に製造業部門で  
GDPの25%シェアを実現

GSDPに占める2017年のカルナータカ州  
製造業部門のシェアは、  
全国平均の14%に対して14.76%<sup>1</sup>



製造業のエクセレンスで国内首位

国内の製造業部門向けの投資に占める  
カルナータカ州の比率は32%<sup>2</sup>

### カルナータカ州の中小企業 (2017年10月現在)<sup>3</sup>



586億ルピーの投  
資



227,681人の雇用



25,234社の  
会社登記

### 現在の物価でのGSDP寄与度 (2016-17年)<sup>1</sup>



製造業

14.76%

工業

23.68%

### 鉱工業生産指数の成長率 (製造業) 2015-2016年 (基準年 2004-05年)<sup>1</sup>



カルナータカ州

2.34

全国

2.0

# 主要な産業大動脈と接続性インフラ



## 2つの産業大動脈を有する唯一の州

- ▶ CBIC (チェンナイ-バンガロール産業大動脈)
- ▶ BMEC (バンガロール-ムンバイ産業大動脈)



## 接続性



- ▶ UDAN制度 - マイソール、ビーダル、バンガロール国際空港、ビドゥヤナガー(ベッラーリ)の下、入札の第1段階
- ▶ バンガロール国際空港はヘリタクシー・サービスのある国内最初の空港



- ▶ 24万キロ続く道路
- ▶ 13の主要な国道



- ▶ 西海岸の深い内港とつながる新しいマンガロール港は、インドで9番目の主要な港

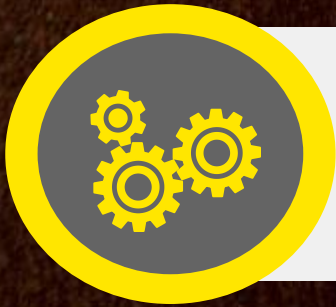
# カルナータカ州の世界的な台頭



2017年11月現在、バンガロールは**世界一のデジタル都市**としてランク付け (エコノミストグループ)



**Fortune 500の80社と700社以上の多国籍企業**がカルナータカ州に拠点



バンガロールは世界**第4位のテクノロジー・クラスター** (国連)



バンガロールは世界のハイテク都市25の**19位**にランク付けされる**インド唯一の都市**であり、ベルリン、香港、深圳よりも上位 (リサーチ会社、2thinknow)



カルナータカ州は**アジアにおける知識、研究、イノベーションのハブ**



バンガロールは世界のハイテク22都市の中で、**住宅価格の手頃さ**で**第1位** (Savillsのハイテク都市指数)

# 重点セクター





# エコシステムのインテグレータ

## 航空宇宙・防衛機器

# 1位

- ▶ インド宇宙研究機関(ISRO) や防衛研究開発機構(DRDO) など、最高の研究開発センター
- ▶ 国内最初の航空宇宙政策
- ▶ BIA はPPPモデルでのインド最初の空港
- ▶ 航空宇宙における最初のセンターオブエクセレンス

ベルガウムで稼働しているインド最初の航空宇宙経済特区

## 主要企業



AIRBUS



部品製造、据え付け・試験機器、組み立てに特化した2,000以上の中小企業

- ▶ インドの航空宇宙投資の65%を占める
- ▶ インド国内の航空機・航空宇宙の4分の1がカルナータカ州に拠点
- ▶ サプライヤー基盤の70%
- ▶ 国内の防衛サービスに関する航空機とヘリコプターの67%
- ▶ 航空宇宙技術センターと航空宇宙共通加工施設が開設予定

# エコシステムのインテグレータ 自動車、自動車部品、電気自動車

- ▶ 生産は過去5年で倍増
- ▶ 自動車生産では国内第4位
- ▶ 全国生産高の8.5%
- ▶ 1,400万台の登録自動車と国内の自動車市場トップ5の内の4つと接続
- ▶ 55,000人以上の雇用
- ▶ 主力OEM 7社と50社以上の自動車部品メーカーが拠点

## 自動車と自動車 部品

- ▶ ボルボ、トヨタ・キルロスカ、TVSスズキ、Telcoなどの大手自動車メーカーや、BOSCH、Delphi、デンソー、シーメンス、エスコートなどの自動車部品メーカーの製造拠点
- ▶ 世界的な自動車および自動車部品クラスター
- ▶ カルナータカ州自動車研究・イノベーションセンターが竣工予定

# 1位

電気自動車とエネルギー貯蔵  
政策2017年- カルナータカ州  
を「インドのEVキャピタル」  
にするためのビジョン

## 医薬品

## バイオテクノロジー

- ▶ 国内のバイオテック企業の60%が所在
- ▶ 国内のバイオテック労働者人口の54%
- ▶ 国内のバイオテック輸出の1/3
- ▶ バイオイノベーション・クラスター；バイオテック・フィニッシングスクール；申請されているマリンバイオテック工業団地、畜産バイオテック工業団地、アグリバイオテック工業団地
- ▶ 5億ルピーのバイオベンチャー・ファンド
- ▶ バンガロール・バイオイノベーションセンター；国内最大のバイオイン

バイオテック政策  
2017-2022年：  
1,000億ドル市場を  
想定

- ▶ 医薬品輸出で第5位
- ▶ 国内の輸出金額の12%
- ▶ 国内の医薬品売上の約10%
- ▶ 医薬品政策を表明した最初の州
- ▶ 医薬品に特化した経済特区、医薬品産業地域、研究開発センターが所在

バンガロールとマイソールは医療機器の製造  
拠点

## 医療機器

# エコシステムのインテグレータ

## 農産物・食品加工

# 1位

- ▶ 農産物市場にオンライントレードを導入
- ▶ 草花栽培では、国内の75%を占める
- ▶ コーヒー、小キュウリ、絹、グリーンチリ、タマリンド、ひまわり、トウモロコシ、雑穀、さとうきび、豆類の生産でトップクラス

- ▶ セクターの年間成長率は全国平均を上回る20%
- ▶ 輸出の年間成長率は22%

- ▶ 4つの食品工業団地と2つのメガ食品団地
- ▶ 有機栽培・雑穀類の14の農業者連盟を設立
- ▶ 20の農作物・食品加工クラスター
- ▶ ユートピアカシュー・クラスターがクムタで完成予定



州全体の65%は農業地域であり、人口の60%が農業に従事

### 漁業は高成長分野

▶ 生産高の年間成長率は



▶ 成長率は30%

## 主要企業

# エコシステムのインテグレータ

## 繊維・衣服

- ▶ 9の手織機クラスター、衣服に特化した地帯、233.3ヘクタールの繊維経済特区
- ▶ バンガロール近郊に、10.4百万ドルの「シルクシティ」の開発が提案されている
- ▶ ドッダバラプラに最初の統合型繊維工業団地

衣類生産は国内の中心拠点として、州の工業生産のほぼ3分の2を占める

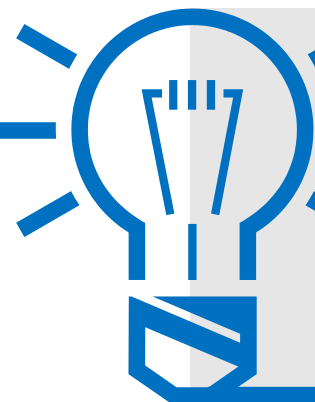
- ▶ 全国の衣類生産の20%
- ▶ インドの輸出収入の15%
- ▶ インドの鉱工業生産の14%

▶ 国内生産では、絹の65%、羊毛の11%、綿の6%を占める

▶ 工業用繊維品の主力市場

▶ 144の技能開発センターと168の民間研修センターがあり、165,200人を研修

# エコシステムのインテグレータ イノベーションと製造業のスタートアップ



スタートアップの最大目標、2016年現在で、1300社以上のスタートアップが全体の資金調達額の40%以上を占める

スタートアップ政策を2015年に導入した最初の州

スタートアップ政策が主導するスタートアップに特化した小組織



エレベート 100、スタートアップのための包括的な起業家プラットフォームを提供することを目指す、総額40億ルピーの資金

スタートアップ政策は、2020年までに6,000の商品スタートアップを含む20,000の新たなスタートアップの成長を想定

## 既存および今後のセンターオブエクセレンス

- ▶ 航空宇宙
- ▶ サイバーセキュリティ
- ▶ アニメ・ゲーム
- ▶ 人工知能(AI)・ビッグデータ



## バンガロール

- ▶ インドのスタートアップの中心拠点
- ▶ 世界の上位15のスタートアップエコシステムの一つ<sup>1</sup>

1. Eddelman- FICCI, 2017年:「バンガロールをインドにおける研究開発の中心に」

カルナータカ州の  
強固なエコシステ  
ム

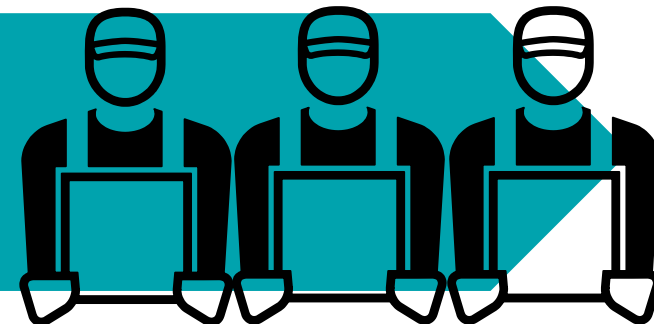


# 熟練のカルナータカ州

カルナータカ州の熟練した若者は産業ニーズを満たす

## ビジョン

- ▶ カルナータカ州は2017-2030年、1,880万人の若者の技能向上を目指す
- ▶ 年間で134万人の既存と新規の労働力



人口ボーナス  
16-35歳の年齢層が  
2,120万人

## 技能インフラ

- ▶ 1,777の公営・民営職業訓練校が10万6,000人の若者にスキルを提供
- ▶ 約290の技術系専門学校、75,000の座席定員
- ▶ 4,200以上の確立された組織と定員が39,000の徒弟訓練制度
- ▶ モデューラー雇用制度、68の業種で500科目を網羅する800名のアクティブな職業訓練提供者



出所: カルナータカ州の能力開発政策、2017年



# インドの知財の中心地

## 研究開発機関/ 学術機関が産業開発を支援

400社以上の多国籍企業が世界的な研究開発センターを開設

近代インドの中心であり、150の産業ハブを通じて成長を推進

バンガロールのデータ分析と人工知能 (AI) における、独占的なセンターオブエクセレンス (CoE)



カルナータカ州は2,102の特許出願があり、出願数で国内2位

世界的なインキュベーションセンターであり、確立された研究所および共通の機器設備を有する

バンガロール - IoTの温床 - インドの971社のIoTスタートアップの内の536社は、バンガロールで登記

# 質の高い教育を推進

カルナータカ州は教育におけるアクセス、資金、高い品質を確保するために、公的投資の拡大による大規模な改革を実施



14-18歳の年齢層の85%が9-12年生に入学できるように、中等教育を一般化する



206  
工科大学

44  
大学

16  
インターナショナルスクール

55  
医科大学 (MBBS)



総就学率 103.71  
純就学率 96.40  
前期初等教育

後期初等教育  
総就学率 92.90  
純就学率 79.16

# 透明性の高い政策イニシアチブ 新たな産業と起業家に対する広範な支援

## 魅力的なインセンティブ



# ビジネスのしやすさ 21世紀に向けたカルナータカ州の形成を目指す



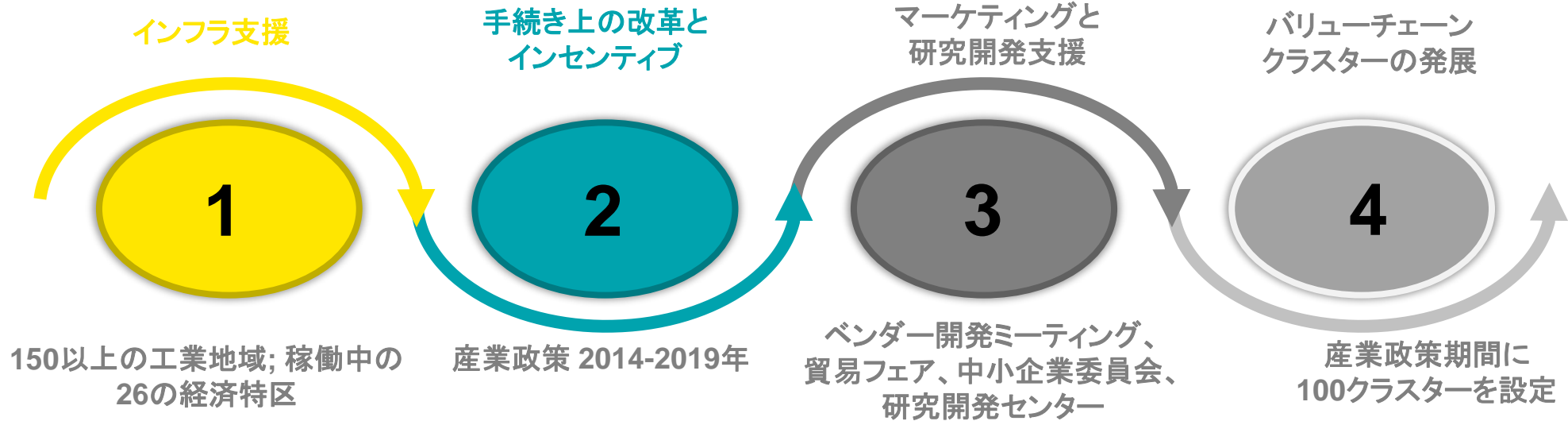
## イニシアチブ

- ▶ 単一窓口の開始と認可
- ▶ 投資家を支援するリレーションシップマネージャー
- ▶ 苦情救済の小組織
- ▶ インセンティブ付与のオンライン監視
- ▶ 異なるインセンティブに対する共通の申請手続き
- ▶ 承認のための統合システム

# 現地化を推進するためのベンダー開発

## バランスの取れた地域開発を可能にする

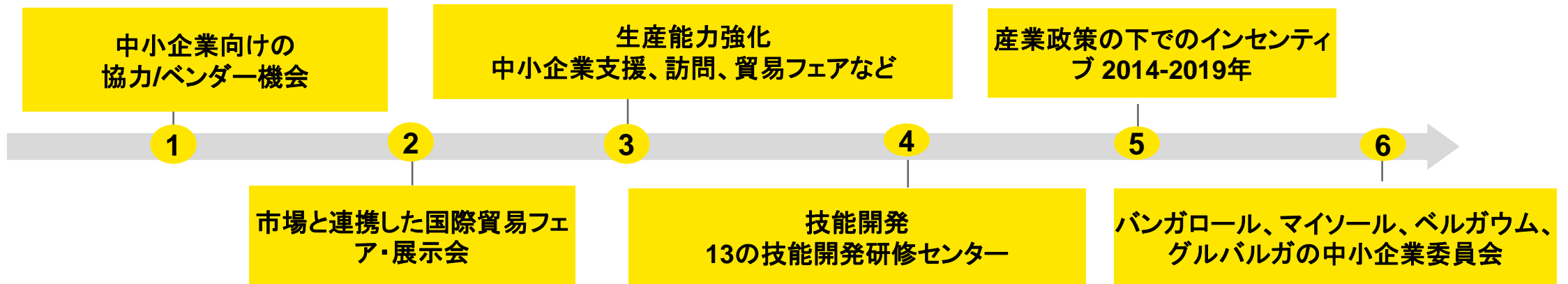
中小企業向け設備



ベンダー開発プログラム

ベンダー開発助成

ベンダー開発



# ライフスタイル・エンターテインメント

## 知性を保つ喜びを伴うビジネス

			<p>ユネスコ世界遺産をはじめとする人気の旅行先が、世界中のツアーリストを魅了</p>	<p>世界的に人気のあるマイソールパクやコリガッシなど、さまざまな地域独特の料理</p>	
<p>ヤクシャガーナダンスと劇場の高い臨場感を含む、豊かな文化と伝統</p>	<p>タージホテルグループやハイアットなど、40以上の5つ星ホテル</p>				
	<p>素晴らしいヘルスケア設備と総合的な健康オプションで知られる</p>	<p>州内の20のショッピングモールは、世界的に知られた様々なブランドを提供</p>	<p>州内には10以上のゴルフクラブ、カウンティ、リゾート、そして町や都市にはさまざまなスポーツ・フィットネスクラブがある</p>		



## バンガロール

- ▶ 国内で最も開発され手頃な都市のひとつ
- ▶ バンガロールの24の絹の複合商業施設、6の手工芸品市場、8つのショッピングモールを伴う、手工芸とショッピングの店舗群
- ▶ インドのガーデンシティ